

樽池レベルアップスキーキャンプ

- 開催日 2018年12月26日～12月29日
- 会場 樽池高原スキー場（長野県北安曇郡小谷村）
- ディレクター名 安齋 朱里（あんでいー）

■キャンプのねらい

- ①スキー：スキー技術の向上とともに、スキーを楽しみ、さらに好きになる。
- ②仲間：同じ体験を通し、年齢差、性別にとらわれない関係を作る。仲間意識を持つ。
- ③目標：SAJバッジテストに挑み、努力の成果を試す。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

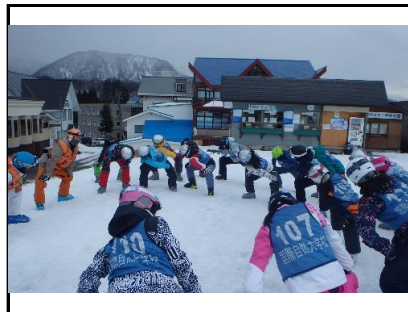
にっき、りょーすけ、あまえび、もも、わっしゃー、やまさん、いけさん

■活動内容

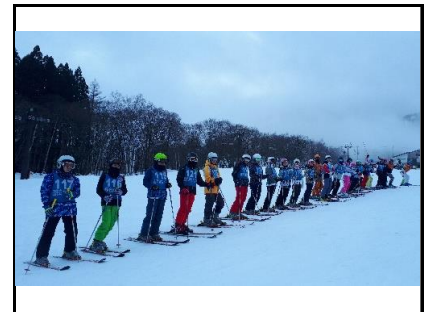
- <1日目>
集合、ウィザード到着
スキーレッスン①足慣らし
自己紹介・目標発表
- <2日目>
スキーレッスン②班分け
スキーレッスン③
スキーレッスン④ビデオ講習
- <3日目>
スキーレッスン⑤バッジテスト
スキーレッスン⑥バッジテスト
ラストナイトフェスタ
- <4日目>
スキーレッスン⑦
バッジテスト結果発表
ウィザード出発、解散



バスに乗って、樽池高原へ行ってきまーす！



初日からスキー！今季初滑りのメンバーも多いので、しっかり体操。



今回はこの22名のメンバーでレベルアップします！



足慣らしの初日。気持ちのいい天気でした。



フリータイムは、友だちと遊んで交流。すぐに仲良くなりました。



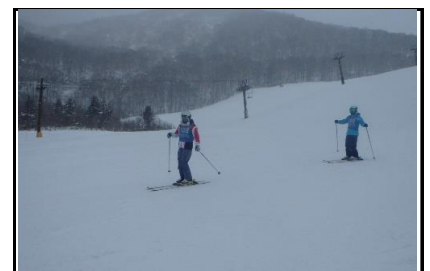
食事の席は、手作りのくじ引き。毎回違うお隣さんで楽しい食事です。



いただきます！たくさん滑って、たくさん食べてエネルギーチャージ。



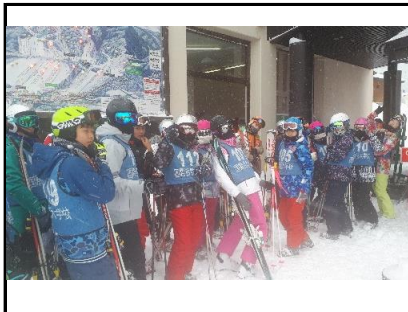
2日目はスキー班分けをして、1日たっぷりレッスン。



それぞれの目標や課題に合わせて、練習をしました。



夜はビデオ講習。自分の滑りを真剣な眼差しで分析します。



朝は Gondola が動き出す前から並びます。パウダースノーは最高！



3日目も雪が降り続けていましたが、バッジテストを行いました。



フリータイムはラストナイトフェスタについて話し合っています。



ラストナイトフェスタは高校性が中心となり行いました。



4つのゲームに大盛り上がり。笑いの絶えない夜になりました。



最終日もレッスン。最後のレッスンも真剣です。



目標に対する振り返り。スキーと自分と向き合った4日間でした。



またこの仲間に出会えることを楽しみにしています！またね～！

■キャンプのエピソード

伝統

初日の移動中、班ごとに点呼係を決めることになりました。「最高学年に任せよう。」と決め、話し合いが始まりましたが、その班には最高学年が3人いました。「どうしようか。」とAくんに声をかけると、「やるよ。俺、3年目だし。」と言いました。すんなりと答えたその言葉はとてまたくましく、感激しました。このキャンプはリピーターが大半なのが特徴のひとつです。そのことを全員が理解しており、回数を重ねているメンバーが、初めての仲間に教える（引き継ぐ）という流れが、要所要所で自然と生まれています。伝統あるキャンプになってきているのも、子どもたちの力だと感じます。このキャンプならではの伝統を守りつつ、さらにレベルアップしたキャンプを提供できるように努めたいと思った瞬間でした。

レベルアップ！

「緊張する…」と、誰もがドキドキしていたバッジテストの結果発表。バッジテストは、今まで練習してきたことを試す場です。上達したいと願う子どもたちにとって、自分の今のレベルを計る目標地点が見えるものでもあります。結果発表は、笑顔と涙で溢れました。それは、一人ひとりが思いを持ってレッスンを受け、必死に練習してきた証だと私は思います。どのようにスキーと自分と向き合ったかが一番大切です。子どもたちは「上手になりたい。」「壁を越えたい。」様々な思いを持ち取り組みました。「合格」という結果が思うように付いてこないメンバーも中にはいましたが、初日と比べ、スキー技術も子どもたちの表情も強く成長しました。またみんなと真剣な時間を共にできることを楽しみにしています。